

おいしいメロンを全国へ ブランド認定メロン初出荷式

つがるブランド認定メロンの初出荷式が7月21日、ごしょつがる農協木造総合支店で行われ、関係者ら約100人が出荷を祝いました。

この日出荷されたのは、名古屋、大阪で販売される糖度15度以上の「タカミメロン」2,100ケース。つがるブランド推進会議会長を務める福島市長は「春先からの好天で作業が順調に進み、味、外観ともに良質なメロンに仕上がりました」とあいさつ。地元幼稚園児が「安全運転でおいしいメロンを全国に届けてね」とトラックの運転手に花束を贈り、関係者一同で出発を見送りました。メロンの出荷は8月上旬にピークを迎え、9月上旬まで行われます。



ブランド認定シールを貼る福島市長ら



トラックに積み込まれるメロン



運転手に花束を贈る園児



出荷するトラックを見送る関係者

園児が地元特産のメロンを学ぶ

育実幼稚園（平田昌子園長）の園児42人が7月21日、地元特産のメロンについて学習しました。

はじめに、木造丸山地区の須藤助十郎さんのメロン畑を訪れ、収穫体験。「ずっしり重い」、「いい匂いがする」など、口々に感想を話しながら、大きく実った「タカミメロン」の収穫を楽しんでいました。収穫後はごしょつがる農協木造総合支店でメロンの選果機を見学。糖度17度以上の「プレミアムメロン」や「レノン」など4種類のメロンの味や見た目などを比べながら試食しました。参加した園児は「どのメロンも甘くておいしかった」、「覚えたことをお家の人に教えたい」と笑顔で話していました。



メロンを収穫した園児

農産物のパトロールを強化 メロンロードパトロール隊結成

農産物の盗難を未然に防ぎ、農家に安心して生産してもらおうと「メロンロードパトロール隊」が結成されました。

これは、メロン・スイカの本格的な収穫時期に合わせて毎年行われているもので、市防犯協会、警察署、防犯指導隊などが連携して農産物の盗難防止に努めています。

7月23日、市役所前で行われた出発式で福島市長は「昨年は2件の盗難が発生しました。ブランド農産物を守るため、一丸となって盗難防止に全力をあげましょう」とあいさつ。市防犯指導隊の手嶋成信総隊長の決意表明に続いて、約30人の隊員が、木造菰槌地区のメロン畑やスイカ畑をパトロールしました。



メロン畑を巡回する隊員

三新田まつりで商店街にぎわう



古田川をゆっくり流れる灯籠

7月22、23日、木造地区の有楽町、千代町商店街で「夜店まつり」が開催されました。歩行者天国として開放された会場では、至る所でマジックショーやバルーンパフォーマンス、ジャズ演奏、地元園児たちによる踊りなどが披露され、多くの市民らでにぎわいました。



多くの市民らでにぎわう商店街

7月20日、下木造地区のかっぱ広場周辺で伝統の「とうろう流し」が行われました。親子連れなど約70組の参加者は、家内安全や学業向上などの願いを込めた灯籠を古田川に浮かべ、ゆっくりと流れていく幻想的な光を見送っていました。

多彩なイベントを満喫 フラット夏まつり

7月26日、豊富町のむらおこし拠点館「フラット」で夏まつりが行われました。

会場ではJ A女性部の踊りや地元の歌謡クラブ「楽歌声の会」による歌謡ショーのほか、商品を多数取り揃えたビンゴゲームなど、さまざまなイベントを開催。フラット内では、地元でとれた新鮮な野菜などが販売され、多くの家族連れらが1日中祭りを満喫しました。

また、この日は弘前市のよさこいチーム「花嵐桜組」が演舞や大旗振りを披露。踊り子たちの威勢のいい掛け声や息の合った華やかな舞いが観衆を魅了しました。



踊りを披露するJ A女性部



新鮮な野菜を買い求める来場者

子どもたちが楽しく体力づくり ふれあいフェスティバル

「ふれあいフェスティバル」が7月26日、稲垣体育館で開催され、地元の小学生ら約200人が参加しました。

これは、市体育協会（成田昭司会長）が主催したもので、子どもたちにスポーツを通して、楽しみながら体力づくりをしてもらおうと毎年行われています。

会場では、トランポリンやグラウンドゴルフなどのスポーツ体験ほか、輪投げや的当てなどの縁日コーナー、お楽しみ抽選会などを実施。市の合併10周年を記念した今回は、地元特産のメロンやスイカなども振る舞われ、子どもたちは夏休みの楽しいひとときを過ごしました。



スポーツチャンバラを楽しむ子どもたち



優勝を報告した横山君(左)と原田さん(右)

小学生学年別柔道県予選会で優勝

全国小学生学年別柔道大会県予選会(6月14日、黒石市)で横山大士君(稲垣小)が男子5年45kg超級、原田采音さん(森田小)が女子5年40kg超級でそれぞれ優勝し、8月に山梨県で開かれる全国大会への出場を決めました。

6月29日、市役所を訪れた2人は、県大会優勝の喜びと全国大会へ向けた意気込みを福島市長に報告。横山君は「組んでから攻める自分の柔道ができるように頑張りたい」、原田さんは「先生方が指導する『攻める柔道』を全国でも出せるようにしたい」と話していました。4月に行われた県少年学年別柔道選手権大会でも優勝した横山君は、県選抜メンバーとして10月に東京都で開催される全国大会にも出場します。

地域一体で明るいまちに 市民集会

7月7日、「第65回社会を明るくする運動」市民集会が松の館で開催され、市民ら約400人が犯罪や非行のない明るい地域を築く大切さを新たにしました。

集会では、穂波小4年の稲場崇太君と野呂咲月さんが「つがる市が心も体も元気な子どもたちでいっぱいになるよう頑張ります」と誓いの言葉を発表。車力中1年の金澤太陽君と大西愛花さんが社会を明るくする運動作文コンクールで入賞した作文を読み上げました。金澤君は「あいさつのおかげで」で自身が体験して学んだあいさつの大切さを紹介。大西さんは「友達・仲間がいたから」で自分を支えてくれる仲間たちの存在の大きさを発表しました。



誓いの言葉を述べる稲場君(中)野呂さん(右)



戦没者を追悼する参列者

恒久平和への決意新たに 戦没者追悼・平和祈念式

「つがる市戦没者追悼・平和祈念式」が7月14日、松の館で開催され、市民ら約200人が戦没者1,325人を悼み、平和を守ることを誓い合いました。

式典では参列者全員で黙とうをささげた後、福島市長が「悲惨な歴史を二度と繰り返さないとの決意を新たにし、恒久平和の確立に向け全力で取り組みます」とあいさつ。市遺族会の工藤光則会長ら来賓の追悼の言葉に続いて、参列者は標柱が飾られた祭壇に白い菊の花を手向け、戦没者に思いを巡らせていました。

またコーラスグループ「蕾の会」による追悼合唱も行われ、平和への祈りを込めた童謡などが披露されました。

つがる地球村に桜の苗木植樹 市観光物産協会

市観光物産協会(川嶋大史会長)による植樹祭が7月8日、つがる地球村オートキャンプ場で行われました。

これは、観光地の緑化整備で市のイメージアップを図ろうと実施されたもので、同協会の会員と地元小学生ら約40人が参加。緑豊かな環境を願いながら、ソメイヨシノやヤエザクラなどの苗木50本を丁寧に植えていました。森田小4年の白取利識君は「上手に出来た。大きく育ててきれいに咲いてほしい」と笑顔で話していました。川嶋会長は「観光地を美化することで、県内外からの多くの来訪者に市の印象を深く残せると思う。今後も緑化を続け、きれいなまちづくりを推奨していきたい」と話していました。



丁寧に桜の苗木を植樹する参加者

プレミアム付き商品券販売

市商工会（宮本純一会長）が恒例のプレミアム付き商品券を7月16日、17日に市内5カ所で販売しました。

国の交付金などを活用した今回は、プレミアム部分がこれまでの10%から20%にアップ。1セット千円商品券12枚が1万円で購入できました。

16日、木造地区の販売会場である松の館では、午前10時の売り出し前から市民らが長蛇の列に。午前5時から並んだ一番乗りの男性から販売が開始されると、購入者の流れは絶えることなく、好調な売れ行きを見せていました。

発行された3万セットの商品券は2日間で完売。市内の239店舗で来年1月15日まで利用できます。



多くの市民らが訪れた販売会場



市民プールで楽しむ子どもたち

夏本番！海水浴場、市民プール開放

本格的な夏の到来を迎えた7月、市内の2海水浴場と市民プール（旧柴田小学校プール）が開放されました。7月19日、出来島海水浴場とマグアビーチ（富蔭町）の海開き式が行われ、関係者が遊泳期間中の安全を祈願しました。海開き式に先立ち、出来島地区では、地域の集会所で市消防職員による救急法の講習会を実施。地元住民が水難事故から身を守る基礎知識などを学びました。マグアビーチでは、地元住民や米陸軍車力通信所関係者らが砂浜の清掃奉仕を行いました。7月22日に開放された市民プールには、夏休み中の子どもたちの元気な声が連日響いてました。市民プールは8月11日まで、両海水浴場は8月16日まで利用できます。

小学生力士が白熱の戦い 高山稲荷相撲大会

高山稲荷神社が主催する「県下小学校高山稲荷相撲大会」が7月20日、同神社相撲場で開催されました。

今回で8回目となる大会には、市内外から15団体48人が参加。はじめに、大会長で同神社宮司の工藤均さんが土俵をはらい清め、「日頃の練習の成果を発揮し、良い思い出になるよう最後まで頑張ってください」と激励しました。大会では、「チビッコ力士」たちが気合十分の立ち合いや豪快な投げ技、土俵際での粘りなど、白熱した戦いを展開。会場は大きな拍手や声援を送る観客の熱気に包まれていました。女兒が男児に勝ったり、負けて泣いてしまう選手が出たりと、小学生ならではの一幕も見られました。



白熱した戦いを展開する出場選手



人気を集めたしじみ貝すくい取り

木造千代町商店街で朝市開催

木造地区の千代町商店街で6月21日、今年最初の朝市が開催され、多くの市民らでにぎわいました。

開会セレモニーでは、長谷川靖久実行委員長が「商店街のにぎわいを取り戻すため、今後も継続して頑張らしましょう」とあいさつ。関係者一同が「がんばろう」三唱をして、朝市のスタートを切りました。会場では、とれたての新鮮な野菜や果物、海産物などを販売する20店舗が出店。特別イベントとして、じゅんさい汁やお茶が無料で振る舞われたほか、しじみ貝のすくい取りが人気を集めていました。

朝市は街の駅「あるびょん」をメイン会場に、10月まで毎月第2日曜日の午前6時半から開催されます。